

釧路短期大学 シグマ・ソサエティ

(SI 釧路)

SI 釧路は、認証40周年記念事業として、2016年12月20日釧路短期大学シグマソサエティを認証いたしました。スポンサーシップ委員会鈴木千枝子委員長にも、遠路駆けつけていただき、釧路短期大学学長はじめ関係者、またクラブ会員の見守る中に厳かに認証式が行われました。その後の茶話会では和やかにひと時を過ごすことも出来、1月17日のSクラブとの合同例会、親睦会も大変有意義なひと時を過ごすことができました。学年末の忙しい時期ながら、少しずつ活動も始まり、4月にはSI 釧路のチャリティーバザーにもスポンサークラブとともに活動する予定です。長い歴史の中で、植栽活動や、募金活動なども今後世代を超えた活動で多くの市民にも喜んでもらえる活動を目指します。

(スポンサーシップ委員長 進藤信子)



認証式終了後に会員と共に



宣誓をする新メンバー



4クラブ合同親睦会にて

旭川藤女子高等学校“S”クラブ 北海道旭川商業高等学校“S”クラブ 旭川医科大学 医学部医学科シグマ・ソサエティ (SI 旭川若葉)

SI 旭川若葉は、2つの“S”クラブと1つのシグマ・ソサエティをスポンサーしています。毎年3月例会に於いて3クラブ合同助成金贈呈式を行っています。そこで各クラブの活動報告・会計報告をして頂き、会食をして交流を深めています。(SI 旭川若葉クラブ ソーシップ 委員長 高橋直子)



国際ソロプチミスト旭川若葉 Sクラブ・シグマソサエティ助成金贈呈式

2017年3月18日
旭川グランドホテル



★旭川医科大学シグマ・ソサエティは、献血推進運動・「国立大雪青少年交流の家」で子どもたちとの交流ボランティア。医学生ならではの、難病や障害を持つ子どもとともに夢のキャンプを作る「そらぶちキッズキャンプ」(滝川市)でのボランティア活動を報告。



★旭川藤女子高等学校Sクラブは、地域の活動をはじめフィリピンの子どもたちに使われなくなった鍵盤ハーモニカを現地に行きプレゼントするなど、地域・国際貢献活動について報告。



★北海道旭川商業高等学校Sクラブは、地域の活動他、台風10号で被害にあった南富良野に災害ボランティアとして参加し、多くのことを学び、改めてボランティア活動の重要性を感じたと報告。

海星学院高等学校国際ソロプチミストSクラブにおける2015年7月から2016年6月までの活動を、以下のとおり報告致します。

A 開発途上国支援

構造的暴力の観点から平和に対しての理解を深めることを目的に、児童労働の問題や世界的な教育格差の問題を取り上げ、持続可能社会を担う構成員としての資質を養う為に、次の事業を行なった。

●2015年度学院祭 国際協力展示 写真1

7/4-5、難民の保護と援助に対する世界的な関心を高めることを目的として、UNHCRの公式支援窓口である国連UNHCR協会の協力で国際協力展示を行う。難民キャンプの様子やテント・毛布などの実物を見て、来場者は国連やUNHCRの取り組みについて理解を深める。この展示物品の輸送費用にSクラブ助成金をあてた。

●2015/2016年度JICA世界の笑顔のためにプロジェクト参加 写真2

11/20、学習用具やスポーツ用品を開発途上国の児童・生徒に援助物資として送付。2012年度より連続参加。校内外に呼びかけた結果、書籍とスポーツ用品を中心に多くの寄付が寄せられる。これらは、ウガンダ・トンガ・アルゼンチンなどに送付。また、翌5月にも同活動に参加。絵本・ソロバン、水彩画セット、分度器などが、ニカラグア・ネパール・ブータンに届く運びとなった。この輸送費にクラブ助成金をあてた。
(新聞記事1)

●Sクラブ会長 国際ユース作文コンテスト2015優秀賞受賞 写真3

公益財団法人五井平和財団主催同コンテスト若者の部において、148カ国から寄せられた12,960作品の中から、Sクラブ会長が優秀賞(世界2位)を受賞。Sクラブの活動をはじめとする支援物資回収活動の経験作文にまとめた。12月1日に開催された2015年度同財団フォーラムの招待を受け、Sクラブ会長は東京で受賞式に参加。

●JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2015審査委員特別賞受賞 写真4,5,6

2/27、同コンテストの全国表彰式がJICA地球ひろば(東京)で開催され、応募総数69,755点から選出された中高生40名が集い、高校生の部で審査委員特別賞(全国ベスト10)を受賞した2年生女子生徒が参加。この生徒が国際協力に興味を持った契機は、国際ソロプチミストの支援によって本校で開催された講演会(FAO駐日連絡事務所所長ポリコ氏による)。併せて、FAO駐日連絡事務所への特別研修を組み、生徒はこれに参加。この研修の費用の一部にクラブ助成金をあてた。
また、同授賞式において、受賞生徒は審査員長で作家の小山内美江子氏よりカンボジア王国の教育施設に楽器類が不足している事実を聞き、校内で物品募集の呼びかけをした結果、多くの寄付が寄せられ、JHP・学校をつくる会(代表理事 小山内氏)を通じ、同国に送付。この輸送費にクラブ助成金をあてた。
(新聞記事2)



写真1



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6

B 国際交流

地球的な諸問題の協働解決のため、グローバルな人材の育成を目的として、次の事業を行なった。

●世界食料デー 講演会参加 写真7

世界の貧困・食糧問題への理解を深めるため、世界食料デー登別大会（同実行委員会主催）にSクラブ生徒が参加。同会主催の講演会が10/13（国際協力 NGO 声なき者の友の輪インターナショナル神田英輔氏の講演）6/22（FAO 駐日連絡事務所所長ポリコ M. チャールズ氏の講演）に開催され、国際理解・国際協力における教員の資質向上を目的として、教員参加費にSクラブ助成金をあてた。

●特別講演会「ベネズエラの国と音楽」実施 写真8,9

6/22、社会の第一線で活躍する女性から学ぶことを目的に、駐日ベネズエラ大使夫人 石川コロネりか氏を招き、本校ベネディクトホールにて全校生徒を対象に同講演会を実施。生徒は、同国の概要・国民性や文化の紹介を通じて、自分の所属するコミュニティーの外に意識を持つ、社会の一員として主体的な行動を選択する重要性を学ぶ。また、同国から始まった世界的な音楽教育プログラムについて学び、連帯・協同に人の幸せがあると気づく。後半は、同氏が訪れた長崎で隠れキリシタンと原爆の歴史に触れ、「大事なものを次世代に受け継いでいく人と平和の尊さ」に気づいたエピソードを紹介された上で、「被爆のマリアに捧げる賛歌」を披露頂き、生徒は平和と持続可能社会の担い手としての意識を深めた。（新聞記事3）



写真7



写真8



写真9

C その他

●「夢を拓く女子中高生のためのキャリアサポート」参加 写真10

11/6、国際ソロプチミスト室蘭主催の同会が本校でSクラブ生徒を対象に開催され、同会員の9名の方が来校される。同会の八田由紀子さん、吉田みゆきさんから講話をいただき、「ピンチをチャンスに変える」「夢や目標にチャレンジし内側から輝く」など豊富な人生経験に参加生徒は刺激を受け、社会で活躍する女性の体験を進路の参考にし、自身の道を切り開く貴重な時間となる。（新聞記事4）

●第8回「夢を生きる」アートコンテスト2015参加 美術部他有志生徒

●教材購入

途上国を中心とする国際理解と、国際協力やボランティアのあり方について、生徒の資質向上を目的として別紙の通り、教材を購入した。

以上



写真10

